

会議名	文化によるまちづくり推進委員会（第2回）
日時	平成26年12月12日（金）18:00～20:25
場所	文化会館 研修室
出席者 【推進委員】	齋藤 大二郎、比嘉 朝康、廣田 由実、岡本 紘子 村井 浩司、林 絹江、千々松 武博、加藤 聡、 富田 輝美、酒井 和枝 (10名)
事務局	大田成長戦略室長、石田主査、村田主任 西田文化会館館長、船林副館長

●会議次第	<p>1. 成長戦略室長あいさつ</p> <p>2. 議事</p> <p>①文化協会の概要について</p> <p>②平成27年度文化に関する事業について</p> <p>③その他</p> <p>3. その他</p>
○委員長	成長戦略室長あいさつ
○委員	<p>（議事①文化協会の概要を規約、内規、助成金交付要項を使って説明）</p> <p>文化協会の事務局は、平成22年度までは教育委員会の社会教育課に事務局があった。平成23年度より事務局が独立し、文化会館に移った。</p>
○委員長	文化協会はいつからあるのか。
○委員	<p>旧小野田市は約50年前から文化協会という組織があった。旧山陽町は昔、文化振興会という組織があったと思う。そして、その組織は厚狭地区と埴生地区にあり、別々に活動していた。現在の山陽小野田市文化協会というのは、旧小野田の文化協会と、厚狭にあった文化協会が合併したものである。</p>
○委員長	文化協会の予算はだいたいどのくらいなのか。

○委 員	おおよそ450万円から500万円ぐらいの予算である。
○委員長	文化協会の会員数はどのくらいなのか。
○委 員	様々な団体が加入しているが、個人会員500人、団体会員150団体ぐらいである。
○委員長	文化協会の新年度の事業決定はいつごろ行われるのか。
○委 員	文化協会は5ヵ年計画を策定していこうと考えている。また、新年度事業についてはだいたい2月ぐらいを予定している。
○委員長	文化会館は、主催文化事業などの5ヵ年計画は策定しているのか。
○事務局	文化会館では、主催文化事業は1年ごとに予算を確保して実施しているため、5ヵ年計画を策定していない。
○委 員	やはり文化協会と市が一緒になって文化振興をすることが必要だと思う。
○委員長	すり合わせをできるところはしていきたいと思う。
○事務局	(議事②の平成27年度文化に関する事業について資料に従い説明) 第6回現代ガラス展等について説明。
○委員長	旧小野田市には、ガラス造形作家で有名な竹内傳治さんという方がおられ、その方の指導のもと現代ガラス展が開催された。第6回はおのだサンパークで開催する。また、合併10周年の記念事業としての冠を設けることや、若者推進会議も立ち上げて、若い人のアイディアで開催期間中にイベントを開催するなど、今まで以上に盛り上げていきたいと考えている。

○事務局	絵画展開催事業である。これは新規事業として、平成27度から実施したいと考えている。市内のセミプロ級の画家を対象として、日頃の成果発表の機会を提供するため、文化会館に小規模なギャラリーを作りたいと考えている。
○委員	文化会館の小ホールなどは明るさについては、個展とかで使用される照明ではない。
○委員長	市内にギャラリーは必要と考えている。
○事務局	市民ギャラリー推進事業については、「まちかどギャラリー」を整備する市民活動団体及び「まちかどギャラリー」内で、展示会を開催する事業者を支援するため必要経費の一部を補助するものである。
○委員	この事業は厚狭地区だけを考えているのか。
○事務局	厚狭地区だけとは考えていないが、現在意欲的に取り組んでいるのは「杜のまち構想」の方である。今後、市全体に広がっていけばいいと考えている。
○事務局	続いて主催文化事業である。山口県交響楽団コンサートについては、以前から事業実施してもらっている。練習会場を提供する代わりに、文化会館でもコンサートをしてもらうものである。
○事務局	次にピアノマラソンである。これは、文化会館が平成6年に開館し、次年度平成7年度からずっと続いている事業である。
○委員長	これこそ継続して素晴らしい事業になっている。
○事務局	次に山陽小野田市少年少女合唱祭である。この事業は、2006年に山口県で開催された児童が合唱する式典をこのように開催されるのは県内では無いので、他に誇れる事業である。

○事務局	次にアートのためばこ事業だが、これについては、だいたい2月から3月に開催する。
○委員	同じような事業を、文化協会でも実施しているが一緒にすることはできないか。
○事務局	時期や内容が合致していないと思うので、一緒にすることは難しいと思われる。
○委員	やはり内容が同じであれば一緒にすべきであると思うので、是非協議をしたいと考える。
○事務局	次にセルゲイ・ナカリャコフ事業だが、これについては、合併10周年の記念事業として実施することになっている。
○事務局	次に展覧会事業である。これは、役者・演出家・画家と幅広く活躍された米倉齊加年氏の絵画展を行うものである。
○事務局	次に子どもお楽しみ劇場である。子ども向けの影絵劇や人形劇などを実施し、本物の芸術文化に触れ合う機会を子どもたちに提供する。
○委員	これは是非やっていただきたい。やはり、子どもたちが小さいころから文化に触れ合うことは非常に重要であり、大切である。
○事務局	次にお笑いライブである。これは老若男女幅広く世代の人が楽しめるお笑いライブを、吉本興業の若手お笑い芸人を呼んで開催する。
○事務局	次に歌ごえコンサートであるが、これはプロのアーティストによるコンサートを実施するものを聴くだけでなく、アーティストと観客が一緒に歌い、幅広い世代の市民が楽しめるコンサートとするものである。

○事務局	NHK公開番組開催事業であるが、これについては、市誕生10周年記念事業として、公開番組を文化会館で行うものである。
○事務局	次にサンタクロース派遣事業であるが、これは、毎年山口市にフィンランドからサンタクロースが来るので、その足で山陽小野田市に来てもらう事業がある。
○委員	この資料には無いのであるが、子どもふれあい事業はどこにあるのか。
○事務局	資料から漏れている。
○事務局	続いて、共催文化事業として、「おんがくであそぼう」「0歳からのファミリーコンサート」「ティータイムコンサート」をあげている。これについては、この事業を引き受ける団体があるので、その団体に委託する予定にしている。
○委員	その委託する事業者はどこか。
○事務局	生涯学習音楽指導員ネットワーク・山口。この団体は、この事業に深く係わり合いをもっていて、この事業にも参加してもらっている。
○委員長	(議事③のその他について) 事業一覧の後に、公民館条例と生涯学習情報誌の楽集生活をつけているが、これは前回の委員会で委員から資料提供の依頼があったものである。
○委員	夢を語るが、市民館文化ホールが老朽化している。文化会館と差別化して300人程度の小規模なホールがあれば良いと思う。
○委員	この会議であるが、今後どのようなことを審議し、どのような目的でこの会を設けていくのか。

○委員長

本来ならば、文化によるまちづくり事業を協議していきたいと考えているが、今は文化事業の内容や団体活動の状況を知ってもらうことが大事と考えている。また、現在策定されている文化振興ビジョンもあるが、これも総合計画に沿って、修正作業をする時期が来ると思う。そのときは、文化振興ビジョン計画策定委員会の委員会になると思うが、そのときは皆さんに審議していただきたい。

20時12分 終了

◎提出資料名

- ・平成27年度 総合計画（文化振興ビジョン）に基づいた主要事業
- ・山陽小野田市文化協会内規（案）
- ・山陽小野田市文化協会規約
- ・山陽小野田市文化協会助成金交付要項
- ・山陽小野田市公民館条例
- ・山陽小野田市生涯学習情報誌「楽集生活」